

JR越後石山駅東口駅前広場周辺整備事業

1. 目的

- ① 鉄道で分断された市街地の一体化 ⇒ 自由通路の整備
- ② 自動車（バス・タクシー含む）・自転車の利便性・アクセス性向上
⇒ 駅前広場・駐輪場・道路の整備
- ③ バリアフリー化 ⇒ 段差解消・エレベーターの設置

2. 参考（バリアフリー化の整備目標）

国の「移動円滑化の促進に関する基本方針」より

○1日当たり 3,000人以上の乗降客数がある鉄軌道駅は、原則、バリアフリー化を実施する。

上記を満たしていない駅舎は、

- ①信越本線 越後石山駅(4,044人)
- ②越後線 巻駅(4,682人)

3. 整備方針

- 令和2年度より予算化し、鉄道施設の支障移転検討などの調査を行い、本格的に関係機関との協議・調整を進め、より一層、地域の合意形成を図っていく。

資料5（参考）

越後石山駅の駅舎整備について（要望書）

平成25年
東区自治協議会

越後石山駅は住宅街に囲まれ、多くの市民から通勤・通学で利用され、1日約4000人の乗降者数を数えますが、現状駅利用者の利便性において、多くの課題を抱えています。

現在、越後石山駅西口にある新潟市園芸センターの移転に伴い、「越後石山駅西口整備事業」として、同センター跡地における公園緑地の存続や駅前広場と駐輪場及び駅につながる道路の整備を行うことを決定しています。

このことにあわせて、地元石山地域では、利便性の高い駅舎整備を望む声が高まったことから、地域コミュニティ協議会が中心となり「越後石山駅橋上化整備推進会」を立ち上げ、駅舎整備（橋上駅化）の実現を求める署名活動を行いました。その結果1万3000名を超える署名が寄せられ、その署名とともに当東区自治協議会に対し、越後石山駅駅舎整備の早期実現に向けた協力要請をいただいたところです。

このような区民の切実な声を受け、東区自治協議会としても、東区と市民の生活環境の向上のため、越後石山駅の駅舎の整備について、本要望書を提出する運びとなりました。

これらの地域における熱意をご理解いただくとともに、同駅舎の現状を踏まえ、橋上駅化整備の早期実現に向けて、是非とも前向きなご検討をいただきますようお願いいたします。

1. 現状の越後石山駅(駅舎)における課題

- 駅ホームが上下線に分かれており、各々のホームに改札口があるため、利用者は地下道を通って利用改札口に行かなければならない。
- トイレが下り線のホームにしかないため、上り線の乗客の場合はいったん改札を出て地下道を通り、下り線のホームに行かなければならない状況である。

このような問題があるため、現在の越後石山駅は高齢者や障がい者にとって利用が難しい駅となっている。

2. 要望事項

(1)越後石山駅舎の橋上化

現在の駅改札が上下線別々である問題を解消するため、駅舎機能をプラットフォーム上階部分に集約し、跨線橋と駅舎を一体化した橋上駅舎として整備すること。

(2)駅舎及び駅周辺のバリアフリー化

越後石山駅舎及び駅周辺の整備時には、エレベーターやエスカレーターを設置するなど高齢者や障がい者へ十分配慮した整備を行うこと。

平成25年 2月15日
新潟市長 篠田 昭 様

東区自治協議会長 石本 勝見